

今年も早3月を迎え、卒園、修了の時期を迎えました。小学校へ旅立つ年長さん、一つ大きな学年へと進級するみなさん、おめでとうございます。そして、保護者の皆様におかれましても、お健やかにお子様の成長・園生活を支えていただき本当にありがとうございました。園で心も体も大きく成長したお子様をお家でも、ギュッとハグして差し上げてください。「大きくなったね。あなたとお話したり、遊んだり、ご飯を食べたりすることが、本当にうれしいよ、ありがとう」と言ってみると、お子様はいったい何と答えるでしょうか。大きくなるということは、自分より小さい人にも大きい人にも優しくなれるということです。



異年齢で遊ぶ成長の姿



3学期は、特に学年間の交流が活発になります。年少さんが、年中さんに手をつながれて大縄をくぐり抜けます。はじめこそ、お互いに緊張しているものの、年中さんが手をぐっとにぎり、タイミングを見計らって一緒に大縄を走り抜けると、年少さんも本当にうれしそうです。

年中さんが数字書きをしているところを年少さんが見に行くこともありました。年中のB君の数字書きを後ろからじっと見つめていた年少のA君。小さい声で「B君は数字を書くのが上手なんだよ」と友だちにささやく声を聴いたB君。B君は思わず背を伸ばしてさらに集中することができていました。

ホールで、年長さんと年中さんが鍵盤ハーモニカの聴きあいをしました。年中さんは「かえるのうた」のカノンを、年長さんが「思い出のアルバム」を演奏しました。年長さんの演奏を聴く年中さんの姿は背筋をピンとして素晴らしかったです。その後、聞き覚えた「思い出のアルバム」を吹き始めたり11月のお遊戯会のミュージカルで年長さんが吹いた「Happy Birthday」を吹き始めるお子様もいて、今も歌の音が絶えません。

年長と一年生との交流もあります。豊島小学校に行って一年生との交流や、田戸小学校からは、年長さんのために一年生が作ってくれたDVDをみんなで観ました。小学校への心配が吹き飛ぶような楽しい内容でした。1年生からもたくさんの刺激を受けています。うわまち幼稚園の卒園児の大きくなって頼もしい姿を見ることができ、職員一同嬉しくなりました。

実社会で同じ年齢の集合はほとんどないと言ってもよいでしょう。お互いを大切に思う関係性、異年齢だからこそ受けるお互いからの刺激を、あそびの中で十分経験しています。

来年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。

つめる年少さん



⇒数字書きをする年中さんを見

に見せてくれました



⇒年中さんが海の絵を年少さん

よこんと座るれもん組さん発見



⇒おやおやっあんず組の中にち

も関係なし!



⇒じゃんけん列車は年中も年少

する年長さん「上手だなあ」



⇒「思い出のアルバム」を演奏

見えます。

⇒一年生のやることをしっかりと

